

開所
10周年

三重県聴覚障害者支援センター

センターまつり

2022年 **3月6日**  9:30-15:30

三重県総合文化センター 生涯学習棟

2階 視聴覚室

<今村彩子監督作品 上映>

10:30~12:00

「友達やめた。」(84分)

13:30~15:30

「きこえなかったあの日」(116分)

参加費
無料

4階 大研修室

9:30~11:30 聴覚障害者関係ブース

スタンプ1 映画①(2F)	スタンプ2 映画②(2F)	スタンプ3 ブース(4F)

参加スタンプを
集めて
プレゼントを
もらおう!



●三重県聴覚障害者支援センター 津市桜橋2丁目131 三重県社会福祉会館5F TEL059-223-3302/FAX059-223-3301
※感染拡大の状況により開催を見合わせる場合があります。センターHP (<https://www.deaf-mie-center.com/>) にてご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染者が発生した際などにはご連絡する場合があります。
下記にご記入のご協力をお願いいたします。当日受付にて切り取らせていただきます。

名前	
連絡	() FAX () TEL () メール

今村彩子監督 作品紹介



ABOUT ME!

名古屋出身 / Studio AYA 代表
愛知県立豊橋聾学校高等部卒業 / 愛知教育大学教育学部卒業
大学在籍中にカリフォルニア州立大学ノースリッジ校に留学し、映画制作を学ぶ。
現在、愛知学院大学で講師をしながら、映像制作をしている。

10:30~12:00 上映

友達やめた。

わたし (=今村彩子監督)

生まれつき耳のきこえない映画監督。芋ケンピと自転車が好き。前作『Start Line』では、自転車で沖縄→北海道57日間に及ぶ日本縦断の旅を決行。思い切りはいいが段取りが悪い。メカ音痴。



まあちゃん

上映会で今村監督と出会い、意気投合。撮影当時小学校の給食調理員をしながら、休日は手話通訳の活動をしている。10年ほど前にうつを発症。その治療の過程でスペルガー症候群であることがわかる。自分とは何か？苦手なこと、得意なことは何か？模索しながら過ごしている。

13:30~15:30 上映

きこえなかったあの日

いくつもの「あの日」から生まれた 私たちの「いま」と「これから」

東日本大震災直後に宮城を訪れた今村彩子監督が抱いたのは「耳のきこえない人たちが置かれている状況を知ってほしい」という痛切な思いだった。あれから10年---。手話言語条例の制定が進み、知事の会見に手話通訳がついたり、一部の市町村では役所や公共施設に手話通訳が配置されたりするようになった。日本各地で起こった様々な災害現場でも、手話で会話ができる福祉避難所や、絵や文字による情報保障、そして、ろう・難聴者による災害ボランティアなど、これまで見られなかった新しい動きが生まれていた。2013年に『架け橋 きこえなかった3.11』を発表した今村監督は、現在も宮城に通い、熊本地震、西日本豪雨、新型コロナウイルスの流行といった困難の渦中にある耳のきこえない人たちの姿を記録し続けている。みんなが安心して暮らせるその日まで---。今村監督がみつめた、耳のきこえない人たちと災害、その10年の記録。



冬は春になるから、また会いにいこう。

聴覚障害者関係ブースに出展する団体(予定) 4階 大研修室 (9:30~11:30)

一般社団法人三重県聴覚障害者協会(手話の本)、三重県難聴・中途失聴者協会(耳マークグッズ販売)、全国要約筆記問題研究会三重県支部・三重県要約筆記サークル連絡協議会(音声認識・筆談アプリの紹介)、三重のろう重複者と共にあゆむ会(会報展示)、福祉機器店など